

松本市区  
選出



長野県議会議員

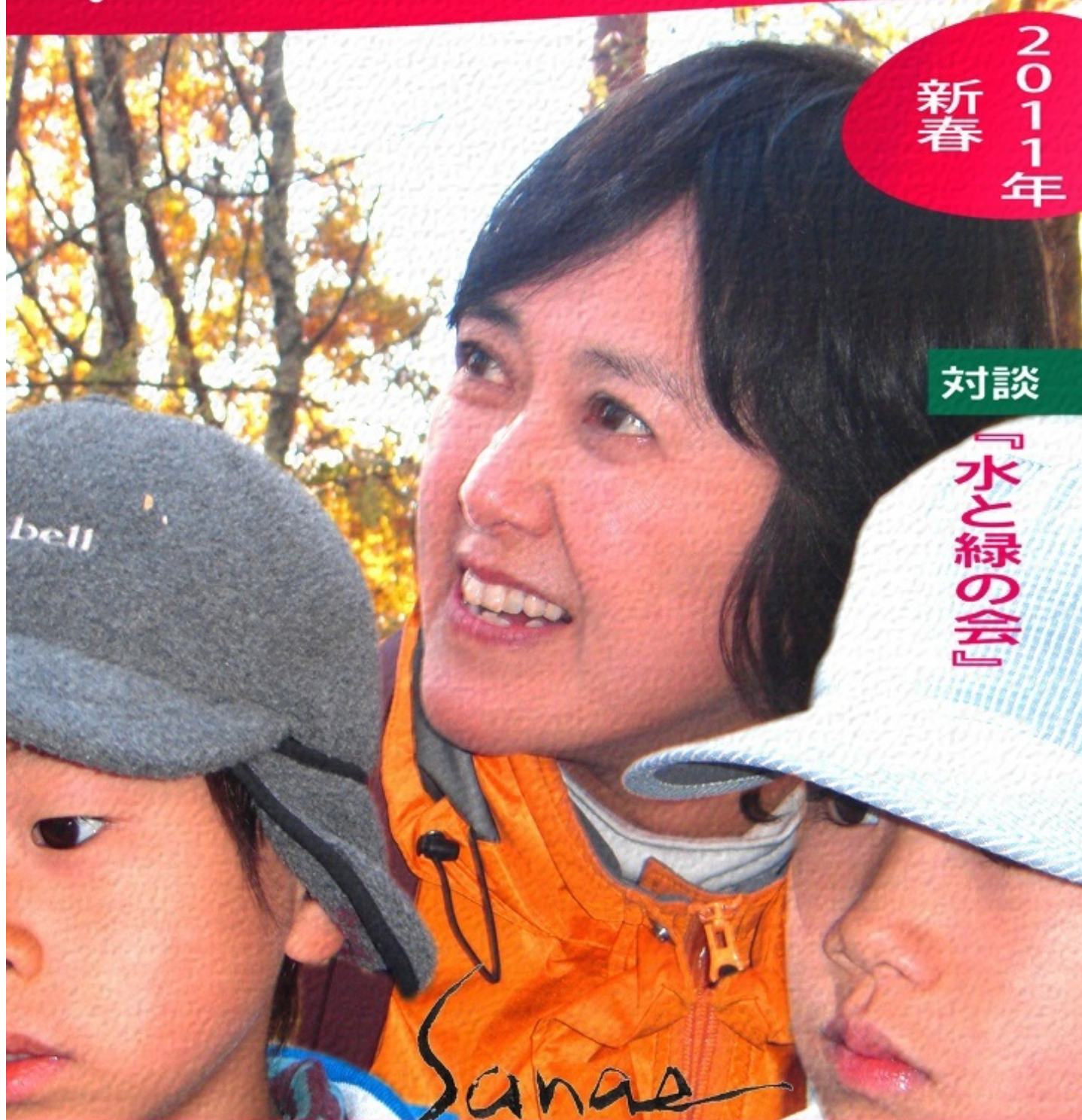
北山早苗

通信

2011年  
新春

対談

『水と緑の会』



Sanas

松本市区  
選出



長野県議会議員

北山早苗

通信

2011年  
新春



Sanao

時代が流れる中で、  
**県政は？**



2011年  
新春

対談・  
その5

世界も日本も混沌とする中で、私たち県民はどうすれば良いのでしょうか？  
注目の方々にお話を聞く中で、考えてみたいと思います。

信州や松本の豊かな自然環境を守るために、必要なことは？  
行政に働きかけ、湧水の川の保護や溪流の復元などの活動をされて  
きた『水と緑の会』の皆さんに、松島橋下の湧き水の川で聞きました。

Sanas

対談



**北山** 『水と緑の会』の20周年記念講演会を私も聴講しました。西部公民館の環境講座に参加されたのが会を始めたきっかけと、杉本さんは新聞に投稿されていましたね。

**杉本** せっかく勉強したのだから、実際に何かに携われないかと、ここ松島橋の下に集まって、それが出発点になったのです。

**北山** 初めてこの湧き水の川を見た時に、松本にこんなステキなところがあるんだと、びっくりしました。

**杉本** 20年前は、もっとステキでした。昔ながらのものが色々あって、中村先生が教えて下さいました。お魚博士で本当に詳しくかったです。植物のことも。98歳でお亡くなりになりました。

**田口** 信州大学の繊維学部の先生で、水産が専門でした。会の顧問をやってくれましたが、先生の影響が大きかったと思います。

**北山** 奈良井川の護岸工事で、会が県から説明を聞く時、私もご一緒させてもらいましたが、護岸工事で、『水と緑の会』の果たしてきた役割は？

**常田** 奈良井川のことので県が作った資料には、「水と緑の会がこういったから、今のような工事にする。新橋の所と同じ工事ではありません。」と書かれています。

Sanae

松島橋下流にある 湧き水の流れて で  
水と緑の会の皆さんと



常田さん、巽さん、杉本さん、北山（田口さん撮影）

Sanaa

**常田** 初めの計画では「何故こんなに川の下を大きく掘り下げるのか?」と聞いたら、県は、「高水流量というのがあって、島橋の下に治水の基準点があり、国が決めた。」と説明しました。ところが、ダム問題で揺れた時に、国に聞くと県が決めたと言ひ、2年ほど前には、「県が申請を出して国が認可した」と言いました。「では、何処に雨量計があって、何を元にして、どういう計算で2,300トンという高水流量を決めたのか?」と聞いても、「難しい計算で決めた」とか言って、未だに返事はもらえません。

**北山** 最初の計画を見た時に、湧き水の流れがなくなってしまうということで驚き、調べたのですね。

**常田** 最初に2,300トンがあって、流量配分という方法で、薄川は何トン、女鳥羽川は何トンと決めたのだそうです。しかし、素人が考えても、実際に雨がふって、薄川に何トン、女鳥羽川に何トン流れたかというデータを元に、奈良井川に何トン流れるかという流量を決めるべきなのに、そういうことをせずに、逆に、下流のほうから机上で計算したにすぎないということを県は認めています。そういうことを50年くらい前にやっただけだと資料に書かれていたので、見直したほうがいいのではないかと、私たちは言ってきました。





**北山** 今は暫定の河川改修をしていると聞いていますが。

**常田** そうです。初めの計画では、この湧き水の流れもコンクリートの水路にする計画でした。しかし、川は川につくらせれば良いと、私たちは言うてきました。田川も女鳥羽川も河床を1.5m掘り下げる計画ですが、実際には新橋下流の掘削の影響により河床が自然に下がってきてしまい、堤防の補強工事を行ったりしています。それでも、初めの計画は変えていません。

**巽** 最初の2,300トンという計画の進行は、遅らせていると思います。

**北山** 皆さんが頑張っておっしゃっているお陰で、きれいな湧き水の流れが残っているのだとわかりました。自然復元や保護で、他にも『水と緑の会』で取り組まれてきたことは？

**巽** 牛伏川で砂防堰堤が連なっていたところを、9基削っていただき、自然の溪流に復元し、生き物たちに良い環境が戻ってきました。また、庄内地区のまちづくりにも関わって、自然の川の要素を取り入れてと何度も役所をお願いに行きましたが、取り入れられませんでした。

それから、松本市街地からちょっと外れたところに、素晴らしい溪流がたくさんありますが、コンクリートでひどい状況になっているので、自然溪流に戻して欲しいと思っています。

*Sanae*

牛伏川の溪流復元場所で、田口さんと





**北山** 何年か前、復元された牛伏の溪流を田口さんに案内してもらいましたが、えっ、ここが復元したところ？  
と思えるような、みごとな自然の溪流に変わっていて驚きました。

**常田** 取り上げてもらうことが少ないせいか、市内の人は意外に知らなくて…。

**北山** 以前、県議や市議たちが県の説明で牛伏川を視察したことがありますが、溪流が復元された場所は飛ばし、上のフランス式堰堤のところだけ案内されました。

**田口** 山形県米沢市の市会議員など、むしろ、県外から視察に来たりしています。

**北山** 皆さんが業者さんと一緒になって美ヶ原の自然溪流を研究しながら復元工事をされたと、田口さんから聞きました。これから県内で溪流復元の工事があちこちで行なわれれば、ノウハウを積んだ長野県の業者が他県の溪流復元工事に出かけていくことも考えられますね。

**常田** 地元の業者が、県外で活躍できる。

**巽** もっと行政に働きかけないといけませんね。



Sanaa

**北山** これからも、市民が果たす役割は大きいでしょうか？

**田口** 20年前ぐらいに自然に対する思いが高まりました。ところが日本経済が落ちてきた中で、従来型の公共事業を復活させる風潮が出てきて、環境に配慮するという発想が抜け落ちつつあります。もう一度、松本だけではなく全国の市民が、環境問題はどうかあるべきかということの問題提起していかないと、ずるずると経済中心の考え方に流されていってしまう。

実際に、県の事業が着工してから行くと、およそ環境の「か」の字も考えていないような工事が始まっています。諏訪の環境団体と話をして、やはりそう感じていると言います。おそらく、長野県全体、日本全体でそうなりつつあると思います。

**北山** 経済対策の名のもとにということですね。

**田口** 全国の環境団体がネットワークを創りながら、行政に対して働きかける事が重要でしょう。行政も色々な委員会をつくるようになってきているので、そこに環境ネットワークの団体が参加して、いかに自然を保全するか話し合う場作りをし、事業に反映させるようにしないと いけません。

※対談記事中の敬称は略させていただきました。



牛伏川の溪流復元場所で、田口さんと



## 北山

松本には様々な環境団体が地道な活動をしていて、私は色々なことを学ばせていただいています。知事に提案した環境学習支援センター（裏面参照）ができれば、例えば牛伏川の溪流を復元したところに子供たちがやって来て、水と緑の会の皆さんから教えてもらえます。県内のあちこちで、自然環境を守ることについて、子供たちが学べるような県になって欲しいと思いました。

Sanae



松島橋下流にある湧き水の流れ

### 長野県議会議員北山早苗への連絡先

携帯 090-9359-3027 E-mail [sanae@k-sanae.name](mailto:sanae@k-sanae.name)

事務所 〒390-0836 松本市高宮北3-1 FAX . 0263-25-2565

★県政調査室 ご意見をお聞かせください、まずはお電話を。

★議会と県政の報告会 毎月第2、第4金曜日 午後7～9時



Sanae

がんばる市民の皆さんを  
応援します。



Sanae



長野県議会議員



**北山早苗**

携帯：090-9359-3027

自宅・事務所：長野県松本市高宮北3-1  
〒390-0836 Tel.Fax.0263-25-2565



Eメール ▶ [sanae@k-sanae.name](mailto:sanae@k-sanae.name)  
さわやか早苗日記

▶ <http://sanae.voicejapan.net>

北山早苗

松本のために、信州のために、地球のために

法政大学文学部哲学科を卒業後、小学校教諭を12年間勤め  
▼97年NECマルチメディアアート大賞受賞 ▼2000年  
田中知事誕生に、松本・安曇野の勝手連中心メンバーとして  
活動 ▼03年長野県議会議員に初当選。現在2期目。

